

令和5年度

地域の課題について市議会議員と語ろう会 記録
(議会報告会)

令和6年2月6日開催

名瀬	市民交流センター
住用	住用総合支所会議室
笠利	笠利総合支所会議室

地区	質問及び要望	答弁内容
名瀬	・戦闘機の離着陸訓練(奄美空港／徳之島空港) ・屋久島沖でのオスプレイ事故 等の南西諸島防衛関連議題が市議会で質疑されているが、当局側が回答するのは厳しいのではないかと感じる。 是非、防衛省／自衛隊幹部からの市民に対する説明会の開催を要望してほしい。	・自民党からだけではなく、奄美市防衛議員連盟からも説明対応を要望していく。
	・奄美群島振興交付金は、今回提示した予算のどこに含まれているか？	・今回の提示内容では示せていないので、今後の開示方法については検討していく。
	・奄美群島振興交付金の使用目的は？	・当初は港湾や道路整備といった目的であったが、自由度のある交付金へ変化してきた。 実例としては①LCCの飛行機運賃サポート②島外への輸送費用補助等へ活用。 また交付金は12市町村に割り振られる為、内容に応じて調整しは分配。
	・ピーチ減便等の影響による観光に携わる方々の収入減やそもそもの奄美で働いている方々の賃金が安い。そういった賃金サポートへ交付金を活用する事はできないのか？	・奄美群島成長戦略ビジョン2023に従い12市町村にて配分。 ・奄美市として要望していく為にもこのような意見は本当に貴重。こういった要望が聞かせてもらえると奄美市として要望していく可能性も広がる為、もっと要望をあげてもらいたい。
	・大浜の「タラソ奄美の竜宮」再開についての現状を教えて欲しい。予算がなくて動けないという話も聞いている。	・12月議会にて質問し現状について問い合わせしている状況。 ⇒恒久的に使える施設にする為にはどうしたら良いかを考え検討し近々行政から回答もらえる予定。 ・これまで独自システムで運営していたがその会社が撤退した為に、これまでの使用方法に絞らずに検討している助教である事は理解して欲しい。

地区	質問及び要望	答弁内容
名瀬	・都市宣言の下記2項目が決まった経緯・背景を教えて欲しい ・交通安全都市 ・健康都市 ・何故、この質問をしたかという「人口減少」をどうにかしたいという事につながるからである。 交通問題に関しては、現在はくしまバス>が運行しているが、人口が減っていくと運営できなくなる可能性も大きいし、一旦なくなると復活する事はかなり厳しい。 そうすると移動手段が無くなる市民も増えていく。活用する人を増やす施策も検討していくべき。 変わりの移動手段で活用している原付バイクでは道路環境が悪く安全に走行できない課題も多い。 根本的には人口増が必要だと考えるので、最優先課題として取り組んで欲しい。	・現状、分かる人がいないので調べて回答させていただく。 ・交通手段としてのくしまバス>運行については行政からの補助も実施しているが、会社としての努力も必要。 ・提案いただいた様に、バス活用頻度向上の為にバス通勤日設定等も良い意見だと思うので、検討してよい内容だと思う。 ・人口減少の抑制については、全国的な問題。奄美としては少子化対策だけではなくIターン者を増やす等の行政としての努力も必要だと考える。
	・バスの質問があったので、関連して質問。 小湊からのバス路線について県病院での乗り換えが必須で不便。利便性が上がらないと活用頻度があがらない。 その結果として免許返納が進んでいかないことも予想される。 必要路線経路の確保はお願いできるか？	・市民の利便性を考えて決めていくべきだと考えている。 市民・議会でしっかりとコミュニケーションをとりながら行政に提案していきたいのでご協力よろしくお願いします。 一方で働き手不足の現状もあるので、路線変更についても必要性に応じて検討していくが働き手確保もあわせて検討が必要だという事もご理解いただきたい。
	・＜不採択＞案件：義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げを図る為の2024年度政府予算にかかる意見書採択の請願についてなぜ、自主財源が無い中、国に対して予算を要求する案件が不採択になったのか？ 人口減少の中で少子化対策に効果がある教育予算／子育てへ予算をあてるべき。 事例として、給食費無償化の取り組みの紹介あり	・ご指摘内容はしっかりと受け止め、教育予算／子育て関連へしっかりと予算を回していけるように議論していく。

地区	質問及び要望	答弁内容
名瀬	・議会改革の現状として、議員定数削減の議論の進捗状況	・議員定数見直しについては、議会運営委員会にて議論を開始していく方向で提案。 各会派からの意見を集約し委員会を立ち上げて進めていく事になると思う。 今週の議会運営委員会にて各会派からの意見を集約予定。
	・最上位計画のパブリックコメント〆切前に審議会で決議されている。 議会での議論はできているのか？ ・通常の場合ではなく、特別委員会を立ち上げてでも議論していったほしい。	・2/14の全員協議会にて当局から内容説明する場を設定済。 3月議会の中で各会派、議員にて精査し議論し判断していく。
	・財源が無いという事が多いが、財政調整金の活用状況はどうなっているのか？	・ご意見を参考にさせていただく。ただ暫定的な対応の活用にせず持続的に活用できる様に考えながら進めていることはご理解いただきたい。
	・小宿・平松の文教施設を作る予定の場所に自衛隊官舎を立てるといふ噂があるが、何か情報はるか？	・まず、その場所については区画整理事案の為の保留地である。現状の活用有無については賛成90%以上でないと活用できない。現時点では賛成70%反対30%の状況。
	・また、既に官舎が3か所もある中で追加するとう事になると、これ以上に自衛隊が増えていくのか？	・自衛隊に関して自衛隊＝戦争というイメージを持たれている事は分かるが、人命救助で活躍していただいている事も理解して欲しい。 例えば、名瀬港の避難港としての活用についても前向きなご意見をいただいている。
	・台湾有事の際の避難方法について鹿児島で松野官房長官のコメントがあったが、奄美市民の避難方法についてはどうのようになっていくのか？	・屋久島の避難方法についてはコメントがあったが、奄美については聞いていない。議員として知っておく情報だと思うので、確認していく。

地区	質問及び要望	答弁内容
住用	・マングローブパークのグランドゴルフの利用料金について500円であるが健康増進のための施設であるため300円に減額できないか。	・意見を受け止めてしっかりと市へ伝えていき後日、回答していきたい。施設使用料は奄美市が決めているが、運営は民営になっている。老朽化、スタッフの体制なども課題を抱えている。
	・带状疱疹のワクチンの補助事業についての今後の取組みについて、医療費の軽減につながるが	・带状疱疹ワクチンについて、助成についてこれまでも訴えているが前に進んでいない、带状疱疹に罹患するとその後の後遺症があり、同時にメンタル的にも支障をきたす、助成を引き続き訴えていきたい。
	・義務教育国庫負担の反対が議員が12人もいたのか。	・予算が削減されているため、今回は採決を見送りました。
	・健康増進について、検診のポイント事業がなくなったが検診率の低下につながるのではないか？	・後日確認し伝える。(保健福祉課に確認し、5年間の事業であり今年度で終了したとのこと。コロナ禍であったため、十分な評価ができないが、デジタル化への移行)
	・人口減少のため国の施策は充実しつつあり、高齢者は税金が増えている現状、余暇も減っている。 ・空き家対策について、川内集落18件、専門配置も必要ではないか。 ・とくし丸の移動販売が販売だけではなく、高齢者の見守りの役割をしている、東城地区が現在、されていない。 ・議員年金を復活させないと生活が大変になる、復活させてください。	・人口減少について取り組まなければならない問題、住宅の整備もしていかなければならない、低所得者、非課税所得者に対して給付金も奄美市についても活用、企業誘致や働く場所が少ない、また、自衛隊への誘致なども真剣に考えていかなければならない。 ・空き家対策については深刻な状況、国の方で空き家対策特別措置法が制定され廃屋の扱い、実態調査によりランク付けを行い、個人情報を守りながら専門職の方々と協議会を設立し開始している現状。今後、相談窓口を進めており、動き始めている段階。マッチングにより、空き家を賃貸などの利用などの対策も進めている事案もある。 ・東城地区においても月曜日、水曜日午後3時以降に移動販売に回れるとの事。民間のとくし丸にはいろんな要望はできないが、今後、買い物難民への対処を検討していく必要性がある。 ・議員の年金については国会議員の廃止とともに市会議員も廃止となった、若い人が子育てしながら議員が続けていけるのか、議員定数、報酬について今後審議をしていく予定である。

地区	質問及び要望	答弁内容
住用	・盛土について、市～青久への道路や他にも数か所あるが、住用支所、大島支庁に相談したが、急傾斜地ではありませんと言われた、そのようなことを聞いているのではなく、熱海の盛土崩落のような災害が起こることを懸念し、市長にも伝えた、誰がどうするのか、取り組んでほしい。議員の皆さんがやらなくて誰がするのか。	・崩落する危険性があるため、常任委員会(産業建設委員会)で視察をしていき対応していく。
	・津波の防災無線が発信しているのが遅い、11月2日のフィリピン沖の津波、与那国 午前1時30分、気象庁は午前2時、奄美市が午前4時43分 最も早く到達したのが、奄美市とトカラ列島、もっと早く防災無線を発信してほしい。初期行動を明確にしてほしい。なんらかの機会に質問してほしい。	・しっかりと伝えていきたい。
笠利	・南西諸島の防衛について行政が持つ情報の提供のあり方について。 ・国民防護訓練計画があるか。どんな期待をしているのか。	・奄美空港でのタッチアンドゴーの件は事前に笠利町の皆様に連絡をしている。 ・防衛議員連盟などでの交流で奄美市からの要望や情報共有に努めたい。市から国へ情報の共有も訴えかけ、要望も働きかける。今後も情報提供ができるように取り組んでいく。
	・議員定数削減についての議論がどこまでできているのか。	・議会運営委員会にておおよその方向性を出していきたい。次回以降の特別委員会で設置できるのか話し合いが今後進んでいくと思います。
	・笠利地区に対しての議会の中で取り上げられていることは何か。	・笠利地区、住用地区の認定保育園事業に取り組んでいます。 ・蒲生崎公園のトイレは佐仁地区のトイレ設置に伴い、今後検討していくと思います。 ・台風で出荷できなかった農産物の保存等を検討中です。

地区	質問及び要望	答弁内容
笠利	・議員の報酬について政務活動費2万2500円では視察等にもいけないのではないか。	・多様な考えを持つ議員が集まるには、子育て・介護などかながみて、一定の報酬が必要だと思います。出ていく出費も多いです。 ・新人なので、これからの活動に取り組みながらも、報酬が適正であるか確かめ、また他の行政の状況も見ていきたい。 ・報酬審議会を開いて適正かどうか検討していく。 ・政務活動費は月額2万2500円が12か月分で27万円を数回に分けて、東京に陳情に行ったり、鹿児島県に陳情に行くこともできる。今のところは支障をきたしていない。 ・平成18年の市町村合併で議員報酬の見直しがあった。議員の報酬2割カット、政務活動費2割カット(2万5000円→2万2500円)して、報酬だけを上げたが、政務活動費は2万2500円のまま残っている。
	・ライスパイレース指数に基づいて、議員の数、報酬は奄美でいえば合併前と合併後で公務員の給与を提示できますか。	・しっかりとした答えが持っていないので、議会報告会で今後取り上げていきたい。今は、名瀬・住用・笠利の給与支給は同じ。職務によって差がある。これから、報酬のあり方を考えることは必要なこと。
	・各集落の廃船処理について沖縄では、国の予算で廃船を処理し、指定地区を決めて、放置船には罰則を与える取り組みをしています。奄美は世界自然遺産の環境下で放置船が増えないようにしてほしい。	・行政(国分) 今の段階で撤去まではいけてませんが、今区長さんとも話を進めているところです。しっかりと調査を重ねています。鹿児島県の大島支庁主導で奄美大島全体で取り上げている事です。

地区	質問及び要望	答弁内容
笠利	要望 ・質問したい人ができないようにも見えます。一人何分と時間を決めて頂けるとうれしい。 ・水道の漏水に関して、条例の改正(水道が地下に通っている場合と地上に出ている場合の払い戻しの有無について) ・笠利町平集落の(中村安太郎氏)の石碑が工事で埋められた件はどうか。 ・有権者と市民へ、しっかり意見交換をしてほしい。支持者を大事にしてご自身の考えを持って頂くとうれしい。 ・政務活動費で多くの視察等で他地域の事例も参考にして奄美市に落とし込んでほしい。	